

地域生活支援拠点

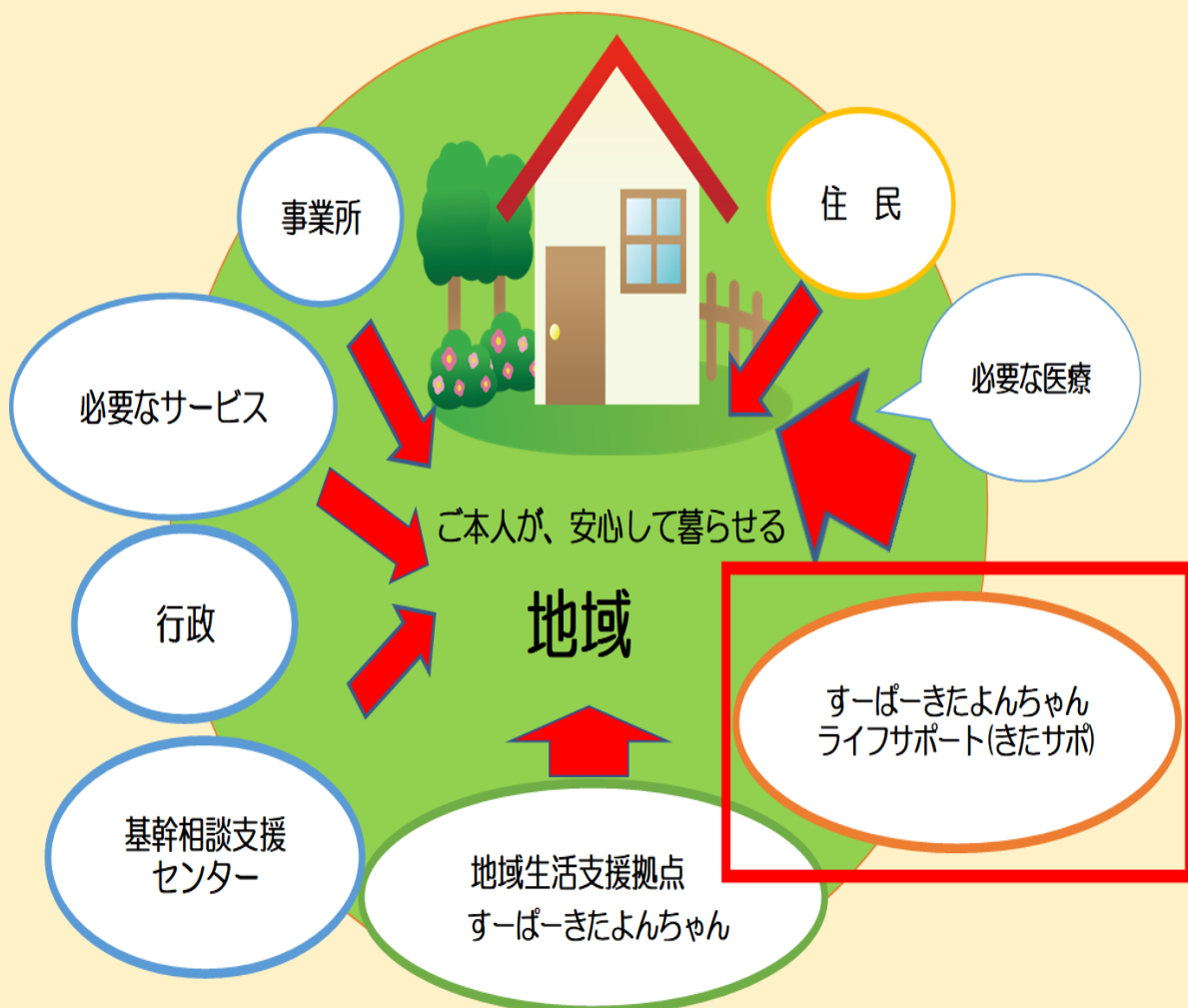
《当麻町・比布町・愛別町・上川町》

あったらいいなをカタチに…

すーばーきたよんちゃんライフサポート

きたサポ

サポートブック



こんなふうに、思っている方いませんか？



- ★ 近所に住んでいる、一人暮らしの人が気になっているけど、外で会ったこともないし、夜に電気がついてる時と、ついていない時があるけれど…近所にその人を知っている人もいないから、心配だけど、どうしたら良いのかわからない
- ★ たまぁに、通る家に障がいを持っているのかなぁと思う人がいると思うけれど、どうやって声をかけたら良いのか、何か出来ることはないのかと思うけれど…
- ★ 人と関わるのが好きだけど、ボランティア活動とかやったことがないし…
- ★ 自分の子供も障がいをもっているので、その経験を活かして何か出来ることのないのかなぁ



何か、できな
いかなぁ

ご飯、どうしているのかなぁ



一人で大丈夫？
心配だなぁ～

きたサポに登録すると

- ★ プランに添って、見守り、声掛け、話し相手などのサポートをしていきます。
- ★ きたサポに登録された方の輪が広がり繋がっていくことで、地域で障がいをもった方が安心して生活を送るためのお手伝い出来ます。

きたサポQ & A



Q1. きたサポに登録するのに決まりはあるの？

A. 当麻町、比布町、愛別町、上川町に在住、在勤の方、20歳以上の方が、誰でも登録することができます。

Q2. きたサポの活動に参加するにはどんな手続きが必要なの？

A. きたサポは、登録制です。関心のある方や詳しい内容をお聞きになりたい方は、きたよんまでご連絡ください。きたよんで各町の名簿の登録、管理をします。※ 会員証の発行をします。

Q3. きたサポの活動は、どんなことをするの？

A. きたサポの手引きの3ページ、4ページに事例を載せていますので見ていただくと、きたサポの活動がより詳しくわかると思います。

Q4. 障がいがある人と接したことがないので不安です。

A. 予防・対応プランを作成し役割を決め、留意事項やサポートに必要な情報を共有します。サポートを行う中での不安なことや、対応時の手立て等についても、サポートマップのきたサポメンバーと話し合いをします。

きたサポ活動イメージ事例 ①

〇〇町で1人暮らしをしているKさん(女性・軽度精神遅滞)。近所に住む親戚の人に、地域生活支援拠点のパンフレットをもらい、きたよんに連絡してみるときたよんの担当者が自宅に来てくれました。現在、自宅で生活していることや不安なことを話し合い、登録や必要な手続きも一緒に行いました。きたよんの担当者は、聴き取りをした内容をもとに、サポートマップ、緊急時予防・対応プランを作成しました。

民生委員の●●さんは、きたサポに登録している

★緊急時予防・対応プラン★

予防／対応	自己対処	家族の対応	支援者の対応	関係機関連絡先
※予防	Kさん 今後の希望や、不安に思っていることなど、民生委員●●さんと話をしたり、親戚の方にも相談する。	親戚▲▲さん Kさんの将来について相談にのる。	民生委員●●さん 定期的に訪問し様子の確認。 必要に応じ、Kさんの了承を得て、きたよん担当者と情報を共有する。	民生委員●●さん 電話△△-△△△ 親戚▲▲さん 電話△△-△△△ □□相談支援事業所 ■●さん 電話△△-△△△

地域生活支援拠点
サポートマップ

Kさん



プラン作成後、きたサポに登録している民生委員●●さんが、定期的に訪問し聴き取りをしたことをきたよん担当者をご本人とで、話し合い日中の過ごし方の提案として地域生活支援拠点の通所体験を試みることになりました。

〇〇町□□区担当
民生委員●●さん

〇〇町□□区
親戚の▲▲さん

□□相談支援事業所
□□相談支援専門員

きたサポ活動イメージ事例 ②

□□町で、高齢の父親と一軒家で同居のYさん男性(軽度知的障害、てんかん)。父親は持病があり1週間の入院が決まりましたが、食事のことや薬の服薬が心配になり、父親の顔見知りの民生委員●●さんに連絡しました。きたサポに登録している民生委員●●さんが、地域生活支援拠点パンフレットを見せてきたよんを紹介し父親からの相談受付となりました。

きたよん担当者がご自宅に訪問し登録の説明、聴き取り後、緊急時対応となりました。

★緊急時予防・対応プラン★

予防／対応	自己対処	家族の対応	支援者の対応	関係機関連絡先
※緊急時対応	Yさん 緊急の時に必要なことを確認する。	親戚▲▲さん 父親の入院とYさんの短期入所の準備についてYさんと父親と一緒に確認する。	□□相談支援事業所 利用する施設との調整	親戚▲▲さん 電話△△ー△△ □□相談支援事業所担当 ■■

父親の退院後、お二人とも自宅生活を希望する。

予防プラン、サポートマップを作成し、今後の生活に必要なサポートを開始する。

父親の退院後、きたよん担当者と民生委員●●さんと訪問し使える制度等の説明をすることが出来た。

予防プラン

作成後

- ・地域生活支援拠点の通所体験を利用。
- ・障害者年金の申請等
- ・配食サービスを週に三回利用する。

きたサポ活動の心得



知り得た情報は、絶対にきたサポ以外の人には、もらしません。



個人情報の取り扱いは、サポートマップに名前が入っている人のみの情報共有です。



サポート内容を変更する時には、サポートマップに記載しているきたよん担当者に連絡をして下さい。

きたサポの会員証

表面

地域生活支援拠点 **きたサポ**

会 員 証

登録番号 NO. 01

名前 _____



裏面

・紛失した時は、きたよんまでご連絡下さい。

電話 0166-84-7111

・会員証を拾われた方は、きたよんまで
ご連絡下さい。

電話 0166-84-7111

※登録された方には、会員証をお作りしお渡しいたします。



地域生活支援拠点マスコットキャラクター
すーぱーきたよんちゃん

《当麻町・比布町・愛別町・上川町》
地域生活支援拠点

上川中部基幹相談支援センターきたよん
当麻町3条東2丁目1番1号（当麻町役場内）
電話 0166-84-7111
ファックス 0166-84-7333
メール kitayon@potato.ne.jp